

上越のみほとけ

—「越後の都」の祈り—

会期中無休

10月9日⑤～11月21日⑤
上越市立歴史博物館

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】一般510円／小・中学生、
高校生260円
※幼児および市内の小・中学生は無料



聖観音菩薩坐像(旧長坂寺伝来)
徳泉寺(東雲町二)所蔵 県指定文化財

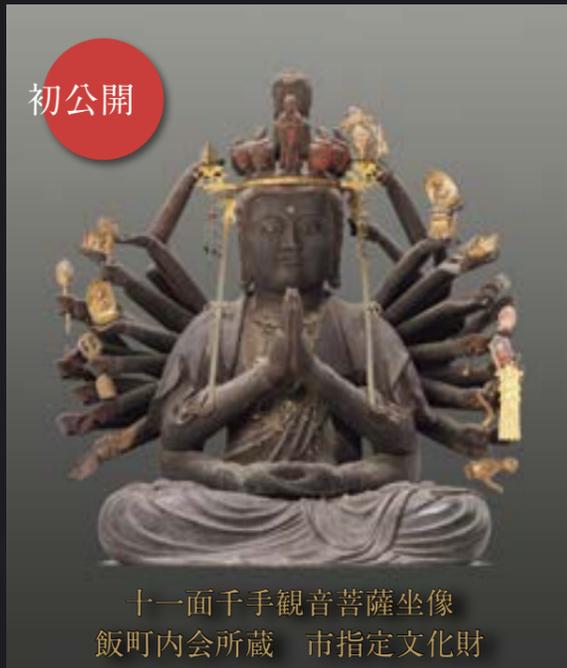
本展覧会では、重要文化財3体を含む、およそ30体の仏像と懸仏が一堂に会します。地域で大切に守られてきた仏像をぜひご覧ください。

「越後の都」であった長い年月へ思いを馳せ、人々が捧げた「祈り」に、現在世界中にまん延する疫病を克服せんとする私たちの「祈り」を重ねる機会となればと考えています。



花岡副館長

一越主任学芸員



初公開

十一面千手観音菩薩坐像
飯町内会所蔵 市指定文化財

合掌する2本の手のほかに、左右20本ずつの手があり、さまざまな持物が握られています。1本の手で25の苦悩を救い、40本で1,000の苦悩を救うといわれています。



出品資料中
最古

如来坐像
医王寺(大貫二)所蔵 重要文化財

像高17.2センチの金銅仏で二重まぶたの童顔が特徴です。火災にあっているため、頭部がやや傾いていますが、それが一層愛らしさを増しているように見えます。

町内会で守り続ける「大日さん」を
ぜひ、多くの皆さんに

板倉区田屋町内会長

鴨井晃さん

田屋町内会は、鎌倉時代末期から南北朝時代に制作されたと考えられている市指定文化財の「大日如来坐像」を所蔵しています。町内会で管理を行い、27世帯が4年ごとに4班体制でお堂の清掃や管理を行う「田屋番」を組み、古くから大切に守り続けて来ました。「大日さん」がお堂から出されるのは、今回の展示会が初めてです。展示に当たり、専門業者と歴史博物館の皆さんが丁寧に梱包し、搬出していただきました。コロナ禍ではありませんが、この機会に一人でも多くの人にってもらい、田屋にこのような素晴らしいものがあることを知ってもらいたいです。



関連
イベント

【記念講演会「上越の仏像 謎を楽しむ」

- ▶ 講師…川村知行氏 (上越教育大学名誉教授)
- ▶ とき…10月16日⑤ 午後2時～3時40分
- ▶ ところ…リージョンプラザ上越
- ▶ 申込先…歴史博物館 (☎025-524-3120)

【学芸員による展示解説会

- ▶ とき…10月23日⑤、11月6日⑤
午前10時～11時
- ▶ ところ…歴史博物館
※事前申し込み不要



詳しくは